

第一回慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 議事要旨

<開催>

日時:平成25年5月30日(木)14:00~

場所:県庁舎6階 第1特別会議室

<出席者>

No	団体名	職名等	氏名	備考
1	沖縄県 福祉保健部	福祉企画 統括監	金城 武	会長
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会	事務局長	宮城 篤正	
3	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	事務局長	上原 兼治	
4	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	会長	中山 きく	
5	沖縄県立沖縄工業高等学校 同窓会	会長	島袋 光尋	
6	(糸満市)真栄平自治会	区長	仲吉 勇	
7	一般社団法人 うーとーとー沖縄	代表理事	仲田 英安	
8	糸満市	社会福祉課長	稲嶺 盛和	
9	浦添市	福祉総務課長	與古田 達郎	
10	与那原町	住民課長	青田 治夫	
11	沖縄県環境生活部	平和・男女共同 参画課長	山城 貴子	
12	沖縄県福祉保健部	福祉・援護課長	伊川 秀樹	

<議事概要>

1 副会長の指名について(要綱第4条第2項)

- ・ 事務局案に基づき、会長が沖縄県福祉・援護課長の伊川委員を副会長として指名した。
- ・ 全委員異議なし。

2 委員の構成について

- ・ 事務局から、今後、幅広い意見と取り入れるため、学識経験者や有識者等を協議会に参加させることを検討する旨提案。
- ・ 各委員異議なし。

3 協議会の公開又は非公開について

- ・ 会長から、協議会及び議事録の公開又は非公開について、協議会の設置目的などから、広く県民に知らしめる必要性があり、原則公開とし、委員の申し出により非公開にすることができるという旨を提案。
- ・ 各委員異議なし。

4 今後のスケジュールについて(資料3)

- ・ 事務局から、今協議会のスケジュールとして、約2ヶ月に1回開催することとして、今年度中に全部で5回開催することを考えている旨説明。
- ・ 第2回目は、7月末頃開催予定。各委員からの意見取りまとめ結果報告を予定。
- ・ 第3回目は、9月頃開催予定。事務局案の提示を予定。
- ・ 第4回目は、11月頃開催予定。事務局案に対する各委員からの意見取りまとめ結果報告。
- ・
- ・ 第5回目は、翌年1月頃開催予定。修正案提示のうえ、検討結果の最終確認を予定。

(上原委員)

- ・ 第5回協議会の開催は、翌年1月を予定しているが、何らかの目標があるのか。

(事務局)

- ・ 特に目標があるわけではないが、2ヶ月に1度開催することとして、年内で一定程度の方向性を見出すことを念頭においている。

(宮城委員)

- ・ 5回程度の会議で、大きな懸案である慰霊塔のあり方が完結するとは思えない。5回の会議では、基礎的な話くらいしかできないのではないのか。

(事務局)

- ・ 本スケジュール案は一つの目安であり、全5回で慰霊塔のあり方・方向性がまとまるとは考えていない。

(金城会長)

- ・ 慰霊塔のあり方については、各団体の思いがある。
- ・ 5回で完結するのは困難であると考えているが、1年をある程度の目処として、なんらかの方向性を打ち出せれば、次の会議につながるのではないかと思う。
- ・ 5回の会議で方向性が出なければ、次年度も引き続き開催していくという方向で柔軟に進めたいと考えている。

(仲田委員)

- ・ 南冥の塔を管理している沖縄総合事務局も参加することはあり得るのか。

(事務局)

- ・ あり得ると考えている。

(中山委員)

- ・ 私達の慰霊塔(白梅の塔)は、将来どうするかまだ考えていない。
- ・ 自分達が元気なうちは、慰霊祭を開催すると考えている。
- ・ こういう会議が立ち上がったのも、将来のことを考えていかなければならない時期だと実感している。

(金城会長)

- ・ この問題は、5年先10年先を見据えて、関係者が意見交換できるうちに方向性を見出す必要があると考えている。
- ・ このまま何もしないでおくと、不安が残ると思う。

(仲吉委員)

- ・ 私達のところ(南北の塔)も今のところ問題はない。
- ・ 自分達の部落の人間で慰霊祭を開催している。
- ・ 清掃についても部落の人間で管理できている。
- ・ 南北の塔周辺に勝手につくられた慰霊碑がたくさんあり、これをどう片付けるか悩んでいる。
- ・ ただし、慰霊の日には本土や沖縄からお金が入ってくるので、すぐには片付けられないと考えている。

(稲盛委員)

- ・ こういった会が立ち上がったのも有意義なことだと思う。
- ・ こういう場で会ができたことは良いと思う。
- ・ 糸満市の社会福祉課長という立場なので、一つ確認したい。
- ・ 今後、代理の出席は可能か。

(事務局)

- ・ 代理の出席も可能。

5 報告事項

○ 平成24年度慰霊塔・碑の調査結果について(資料4)

(事務局)

- ・ 資料4に沿って事務局から説明。
- ・ 平成24年6月に県内慰霊塔(碑)の状況を確認するため、県内全市町村及び沖縄県平和祈念財団に依頼して調査した。
- ・ 調査の結果、戦没者の慰霊塔(碑)の総数は440基。平成13年調査結果(371基)に比較して69基の増加となっている。
- ・ 管理上問題・課題がある、あるいは、今後懸念される慰霊塔(碑)は39基あった。
- ・ 管理上問題・課題がある慰霊塔(碑)は、主に自治会関係9基、戦友・遺族関係9基、同窓会関係4基あった。
- ・ 大きな要因としては、後継者がいないことが挙げられる。
- ・ 市町村別の慰霊塔(碑)建立状況としては、糸満市が最も多く124基あった。

(仲田委員)

- ・ 慰霊塔(碑)が設置されている場所・土地の所有権は確認しているのか。

(事務局)

- ・ 調査としては、市町村に対して土地の所有について確認していただいた。
- ・ ただし、具体的に登記簿を確認しているわけではない。
- ・ 平成13年度の調査時点でも土地の所有について調査されており、そのデータをもとに市町村に調査していただいた。

(上原委員)

- ・ 土地の所有権の調査は重要だと考える。
- ・ 心配しているのは、慰霊塔は土地を借地したり無償で借りたりして建立されているケースが多い。
- ・ そこで将来、慰霊塔(碑)の関係者が高齢化・減少して、その付近で土地利用の必要性が生じたと

きに、どの部分まで借地しているのか不明であると支障が生じる。

- ・ 将来的には移転の話が出てきた場合は、誰に相談しなければならないのかわからなくなる。
- ・ 土地の所有権については、早いうちにやる必要があると考える。

(事務局)

- ・ 土地所有権もそうであるが、慰霊塔自体の所有も問題となっていることがある。
- ・ 浦添城跡公園では、所有者不明の慰霊塔が多く建立されており、浦添市では公園管理に支障があるとの意見があった。
- ・ 豊見城城跡公園でも同様の事例があると聞いている。
- ・ 豊見城城址公園の慰霊塔は、山部隊野戦病院患者壕となっている。

(宮城委員)

- ・ 今後、豊見城城址公園は空手会館が建設される予定もあるので、所有者がはっきりしないことは課題だと思われる。
- ・ 今のうちに地籍等もはっきりさせておく必要があると思う。

(中山委員)

- ・ 白梅の塔についても土地の所有者についての情報を知りたい。

(事務局)

- ・ 調査結果では、国吉在住の個人となっている。

(中山委員)

- ・ 今は個人ではなく、字有地(国吉)となっているはず。
- ・ これが県有地であればよかった。大田さんが知事のとくに公衆用トイレはつくってもらった。
- ・ 私達も土地の問題がひっかかっている。
- ・ また、学徒隊慰霊塔のうち、男子校は問題ないのではないか。
- ・ 一中は首里高、二中は那覇高で現在も存続しており、学校の敷地の近くに慰霊塔があるので問題ないと思う。

(島袋委員)

- ・ 工業高校も生徒を慰霊塔の清掃に動員してどうにか管理している。
- ・ 学校の職員も工業高校卒業生ではない方々が配置されるので、慰霊塔の意識が希薄になっている。

(中山委員)

- ・ 三中(名護高)も学校の敷地内に慰霊塔がある。
- ・ 女子学徒隊の慰霊塔は課題が多い。
- ・ ずいせんは、慰霊祭をやらないと言っている。
- ・ 積徳は、大典寺敷地内に建立されているので、大典寺が関わっているかと思ったが、慰霊祭は行わないとのこと。

(島袋委員)

- ・ 所有権の問題や清掃管理の継続の問題など、大きな問題だと考えている。
- ・ このような委員会を立ち上げて考えるということは、遅かれ早かれやらなければならない。
- ・ 我々も同窓会としてどのようにバトンタッチできるか不安がある。
- ・ 沖縄全体の慰霊塔をどう方向性をつけるのか、大変な問題である。

(仲吉委員)

- ・ 自治体で慰霊祭をやっているところはあまりないのではないかと思う。
- ・ 我々、真栄平自治体は一応慰霊祭をやっている。

(仲田委員)

- ・ 次回開催のときに、もし参考になるのであれば、師範健児の塔がどのような経緯で困った状態になったのか私の方で資料を残しているので紹介したい。
- ・ そういったものを紹介したい。
- ・ 私のおじさんが祀られており、私は慰霊祭に関わってきた。
- ・ 慰霊祭を行うにあたって、色々な問題を感じたが、これは健児の塔だけの問題ではないということを感じた。
- ・ 当時の同窓会が苦渋の決断で、慰霊祭を断念して解散したことがあった。
- ・ そこで、関係者にアンケート調査を実施した。
- ・ 調査でわかってきたのが、生存者・遺族が辛い経験を後世に伝えていない。ということがわかった。
- ・ 後世にどうやって伝えていくかということが課題である。慰霊祭参加者の年齢層がわかれば、ヒントになると考えている。

(上原委員)

- ・ 今は440の慰霊塔があるとのことだが、南北の塔の周辺に建立されているような個人名の塔は含まれているか。

(事務局)

- ・ 個人名の慰霊塔は除いております。

- ・ 平成13年度調査と同じ条件で調査することとしている。

(中山会長)

- ・ 私達のところは、学校名があって白梅同窓会である。
- ・ 沖縄県立第二高等女学校・白梅同窓会である旨を明記して欲しい。
- ・ また、先日は、白梅の塔のお地蔵さんが亡くなった事件があった。
- ・ その後、幸い見つかったが、これには残念に思った。
- ・ 平和祈念財団にはいつも清掃して立派にしてもらって感謝している。

(金城会長)

- ・ 今日の協議会はこれにて終了するが、事務局から連絡事項がある。

(事務局)

- ・ 次回の協議会では、各委員の慰霊塔(碑)の管理に関する意見をまとめて紹介したいと考えている。
- ・ 次回の協議会までに様式を作成して配付するので協力よろしくお願いします。

以 上